

台湾との交流が生み出す 熊本の新たな価値

熊本地震からの「創造的復興」が進み、中心市街地再開発が一段落をする一方で、大規模な半導体工場の新設など、熊本は新しい飛躍に向けた変化の時期を迎えています。

本講演会では、半導体関連産業の進出を発端とした「熊本」と「台湾」の交流拡大をチャンスと捉え、データ分析を交えた様々な面から熊本経済への可能性について考えます。

つまぶき ともや

妻夫木 友也 様 (基調講演1)

Vpon JAPAN株式会社 九州・沖縄支社長
「データ分析からみる台湾人観光客」

1982年鹿児島生まれ。早稲田大学卒業後、小田急電鉄に入社。宣伝・広報担当として、箱根や新宿などの国際的な観光地におけるマーケティングを担当。2013年、沖縄に移住し、旅行サイトを運営する株式会社パムでウェブメディアの立ち上げやマーケティング/事業戦略責任者等を歴任。コロナ下の2020年にはオリオンビールにてEC事業の立ち上げを経て、2023年から現職。各地の自治体・民間企業の海外需要獲得のためのマーケティング支援に従事している。



まつお すなお

松尾 直 様 (基調講演2)

台日産業連携推進オフィス (TJPO) 顧問

「熊本進出で注目を集めるTSMC」
～無名黒子のEMSから半導体先進国に至る台湾産業の歩み～

TDK(株) (電気機器製造メーカー) の台湾現地法人の董事長 (責任者) として15年間台湾に駐在。台湾着任当時、空洞化により工場閉鎖の危機に直面していた台湾工場の立て直しを主導し、台湾独自の新規事業開発により会社再生を果たした。現在は、台日産業連携推進オフィス (日本と台湾のビジネス交流促進を目的に設立された台湾經濟部の外郭団体) の東京事務所に勤務。



2024年

2月21日 

ホテル日航熊本 5F 「阿蘇」

熊本県熊本市中央区上通町2番1号

16:00-17:30(開場15:30) **参加無料 会場(先着100名)**

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止や経済・社会的混乱への配慮の観点から、変更等が生じる可能性があります。

主催 (株)日本政策投資銀行 (一財)日本経済研究所

共催 熊本商工会議所 熊本経済同友会

後援 熊本県 熊本市 (株)肥後銀行

◆ お問い合わせ先
(株)日本政策投資銀行 九州支店
☎092-741-7737



台湾との交流が生み出す 熊本の新たな価値

参加申込要領

下記QRコードまたはURLよりご参加申し込みをお願い致します。

■ QRコード



■ URL

<https://524b5ea6.form.kintoneapp.com/public/mirai2023>

※受付締切：2024年1月31日（水）迄

- ・ご返信いただいた個人情報をご本人の承諾なく、熊本みらい会に関する連絡以外には使用致しません。

※当日の注意事項

- ・受付にてお名刺をご準備願います。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止や経済・社会的混乱への配慮の観点から、何らかの変更等が生じる可能性があります。

お問い合わせ先：（株）日本政策投資銀行 九州支店

☎ 092-741-7737